

いわきの SANKAKUSAN さんかくさん

～いわきの“さんかくさん”とは？～
いわきで男女共同参画を推進する活動をしている人。



特定非営利活動法人
ままはーと
理事長
笠間 真紀さん
(かさま まき)

Q&A

Q どのような活動をしているの？

A 重症心身障がい児(者)・医療的ケアが必要な方を対象としたデイサービス「どりーむず」を平成30年2月から運営しています。
年齢に応じた3事業(児童発達支援、放課後等デイサービス、生活介護)を多機能型で運営する一方、障がい児(者)のご家族やきょうだい支援にも積極的に取り組んでいます。

Q 活動を始めたきっかけは？

A 重い障がいをもつ三男の誕生がきっかけです。
重い障がいをもつ子が地域でその人、その家族らしく生きていくことを「当たり前」という思いから、平成26年に家族会「スマイルリボン」を仲間と立ち上げました。
いわきでは重症心身障がい児(者)に特化した施設がなく、家族会活動では行政や地域に十分に声を届けることが難しかったので、平成29年に法人を設立しました。(福島県内初)

Q 施設を運営する上で心がけていることは？

A 障がいを持って生まれ、生きていくことはとても困難です。
しかし、障がい児本人には「特別な配慮や支援」は必要ですが「特別扱い」はいらなと思っています。
本人には生きていく力をつけることができるような支援、ご家族には「子育てが楽しい!」と思ってもらえるような支援、きょうだいにはその気持ちに寄り添った支援を心がけています。
障がいがある子を支える家族に「一緒に生きていこう」「一緒に悩み、笑いあっていこう」と伝えることが大切ですね。

Q 活動にあたり、大変なことは？

A 資金繰り!(笑) あとはスタッフの確保が非常に困難。児童発達支援管理責任者の資格を持つ人はかなり希少です。
必要な人材でありながら、まだまだ専門知識を得るための条件が厳しい現状があります。

Q 今後の取り組みは？

A 「当事者や家族を置いてけぼりにしないこと」。当事者が地域で生きていくための場所を守ることが、私の使命だと思っています。防災をはじめとする地域とのつながりや、学籍地のある学校の児童・生徒との交流など地域活動を活発化すること、人材育成、ここで働きたいと思ってもらえる施設・法人にしていきたいです。
令和3年度にいわき市女性活躍推進企業に認証され、令和4年度にイクボス宣言をしました。今後はくるみん認定を目指していきます。

私のおすすめの一冊

どんなかんじかなあ

中山 千夏 作絵 和田 誠

読んだ方がいよいよネタバレになるので内容はお伝えしません。ぜひ手に取ってください。



いわきの さんかくさん 募集

「いわきのさんかくさん」を募集しています。
自薦・他薦は問いません。
※詳しくはセンターまで

wing

いわき市男女共同参画情報紙ーウイングー
vol.59 2023年10月 発行

編集長：加藤 藤子
編集委員：影井 和也 小林美智子
鈴木かおり 緑川 琴江



▲今号の協力者
一般財団法人いわき市公園緑地観光公社
左から鈴木さん、比佐さん

あなたもwingに
参加してみませんか。
ご意見ご感想を
ぜひお寄せください。
次回10月発行です。

発行：いわき市 市民協働部 男女共同・多文化共生センター
〒970-8026 いわき市平字堂根町1番地の4
Tel.0246-41-9201 fax.0246-41-9202
E-mail: danjo-kc@city.iwaki.lg.jp



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。